

4 関西大学高槻ミュージズキャンパス

1 地・学連携について

(1) 市民利用状況について

①関西大学高槻ミュージズキャンパス入構者

(人)

平成 22 年	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
一般入構 証発行数	702	1,973	2,545	3,572	3,909	3,186	1,773	1,553	1,367	14,234

②高槻市立中央図書館ミュージズ子ども分室(関西大学児童図書館)利用者

(人)

平成 22 年	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
図書館貸出券での入構者数(人)	1,594	3,000	1,752	2,090	2,081	1,716	12,215
行事实施回数(回)	20	19	24	31	27	29	150
行事参加人数(人)	507	577	412	395	374	332	2,528

※7月14日開館。



読み聞かせの様子

③大学図書館利用登録者

69名

※平成22年度の利用期間は、9月～23年3月末まで。登録料3,500円。

※平成23年度以降の利用期間は、4月1日から翌年3月末まで。登録料6,000円。

④高槻ミュージズキャンパスの施設を利用した公開講座等

■高大交流

	日時	内容	参加者(人)
1	6月27日	大学生と中学生のクラブ交流 (水泳、バスケットボール、吹奏楽)	39
合計			39

■公開講座等

	日時	内容	参加者(人)
1	4月24日	社会安全学部・研究科開設記念講演 「我が国の防災・減災対策の現状と今後の課題」	326
2	5月22日	キャリアデザインセミナー 「keep on dreaming」	320
3	6月19日	関西大学社会安全学部緊急シンポジウム 2010年宮崎県口蹄疫災害を考える ～「経済災害」と社会の安全～	180
4	10月23日	日本災害情報学会 第12回学会大会記念講演 アーカイブスから語り継ぐ若者たちの阪神・淡路大 震災ノート	200
5	10月30日	オープンキャンパス特別企画 ＜ビデオ上映会＞「あんぜんとくらし」	16
6	11月12日	高槻ミュージズキャンパス公開講座「高槻市と安全」 第1回 公共交通の安全	57
7	11月19日	高槻ミュージズキャンパス公開講座「高槻市と安全」 第2回 市民の医療と安全	92
8	11月26日	高槻ミュージズキャンパス公開講座「高槻市と安全」 第3回 災害対策と安全	56
9	12月15日	読書教養講座 「青年よ、読書人たれ 日本のこころをつなぐ道」	400
合計			1,647

⑤安全・安心のまちづくり

■安全・安心のまちづくりに関する作業部会

「安全・安心のまちづくりに関する協定書」に基づき、協力内容の具体化に向けた協議を行うため作業部会を設置した。これまでに2回開催し、災害発生時の具体的な協力体制や、共同事業・共同研究等について協議を進めている。

■高槻ミュージックキャンパス合同防災訓練

高槻ミュージックキャンパスや社会安全学部の特色を活かした地・学連携の取組の一つとして、平成22年11月17日（水）に、マグニチュード7.3（震度6強）の巨大地震を想定した合同地震避難訓練を実施した。

訓練では、同キャンパスの小学生から大学院生まで約700人と、近隣住民や来校中の一般市民等が、グラウンドへ避難。8階から出火し、学生が逃げ遅れたとして、市消防隊の40メートル級のはしご車による救助と、消防隊員による放水を実施。また、グラウンドでは、負傷者役の学生や市民に対するトリアージや応急処置を行った。

訓練の後、近隣住民は社会安全学部の取り組みや同キャンパスの防災設備等について大学から説明を受けた。

このような合同防災訓練は毎年実施する予定で、本年度は開校1年目のため関西大学を中心とした内容であったが、今後は地域とより密接に連携した内容にしていく予定である。



はしご車を使った訓練の様子

関西大学の防災設備の説明を受ける市民



⑥地域交流

■高槻センター街商店振興会との連携

高槻センター街商店振興会は、平成21年度に大阪府の「大阪オンリーワン商店街創出事業」のモデル商店街として選定され、様々な取組を進めている。

その取り組みの一環として、平成22年12月に、「大学生による街の問題解決プロジェクト」として関西大学社会安全学部に協力を依頼し、放置自転車などの課題解決に向け、地域と大学が連携して取組を始めている。

（2）施設開放の調整状況について

高槻ミュージックキャンパスの施設については、「施設開放に関する協定書」に基づき、すでに、レストランや、大学図書館、高槻市立中央図書館ミュージック子ども分室（関西大学児童図書館）、展示スペース（安全ミュージアム）が開放され、連日多くの市民が利用している。

なお、高槻ミュージックキャンパスの施設開放については、市主催事業や、関西大学との共催事業など積極的に同大学の施設を活用した市民対象の公開講座等を企画・実施されるとともに、セキュリティーなど周辺整備の状況等も踏まえながら、引き続き関西大学との連携推進会議を中心に協議、調整を積極的に行うなど、着実に地・学連携を推進していく。